

平成14年10月1日

女性向けの可愛い二段弁当発売！

～「野菜中心」「少なめのごはん」「コンパクトな容器」などがキーワード～

女性の声で作られた女性のためのお弁当が、本日より全国のセブン-イレブン店舗でいよいよ発売になりました！

今回発売になりました商品は、「10品目野菜の発芽玄米二段弁当」と「10品目野菜のミニ中華丼」の2アイテム。いずれもイトーヨーカドーグループの芝パーク出版が発行している女性情報誌『saita』を通じて、今年3月から読者アンケートやインターネット上の掲示板などで幅広くお客様のニーズを集め、「野菜中心のおかず構成」「揚げ物を控えた品揃え」「ちょっと少なめのご飯」「コンパクトな容器」など、女性読者の生の声をセブン-イレブン独自の技術と知識で商品開発に反映したものです。

「10品目野菜の発芽玄米二段弁当」は、れんこんのおかか和えや揚げなすの煮びたしなどの旬の野菜をふんだんに使ったおかずの皿を上段に、下段には食物繊維が豊富なことで話題の発芽玄米をブレンドした少なめの御飯がふんわり詰められており、まさにヘルシー志向の方にぴったりの弁当となっております。

また、同時に発売になります「10品目野菜のミニ中華丼」は、たっぷりの野菜に加え、陸奥湾産帆立貝やいか、豚肉、鶏肉など通常のミニサイズの弁当と比較しても具材が豊富なミニ丼に仕上がっています。

これまでもセブン-イレブン・ジャパンでは、タウン情報宮崎と共同開発した「タンみや弁当」をはじめ、月刊新潟 komachi との「新潟 komachi ラーメン」、月刊長野 komachi との「komachi らーめん」など地域情報誌が持っている地元の声を商品開発に活かしたマーチャンダイジング商品を発売してきました。今回、同じイトーヨーカドーグループの全国発売の女性情報誌『saita』と共同開発することは、グループマーチャンダイジングの強化と、より幅広いお客様のニーズにお応えできるものと考えております。

セブン-イレブン・ジャパンは、今後とも差別化されたお客様のニーズにお応えする価値ある商品の開発に取り組んでまいります。

※ グループマーチャンダイジングとは、イトーヨーカドー、デニーズなど62社から成るイトーヨーカドーグループ内で情報を共有し、生産から物流・販売までトータルにチームを組み、それぞれのノウハウを持ち寄って、商品を開発することです。

以上

ご参考

1. 商品概要

商品名	価格	内容	カロリー	サイズ
10品目野菜の発芽玄米二段弁当	420円	【上段】 れんこんのおかか和え、鶏モモ肉の照焼き、揚げなすの煮びたし、牛コマとごぼうの炒め物、小松菜としめじのごま和え、大学芋のタレ和え、里芋の煮物 【下段】発芽玄米入りの御飯	557kcal	縦12.5cm 横16.5cm 高さ7cm
10品目野菜のミニ中華丼	390円	【上段】 陸奥湾産の小粒の帆立貝、いか、椎茸など旨みを出す具材に加え、たけのこ、にんじん、きくらげ、白菜、れんこん、玉葱、ごぼう、しめじ、アスパラガス、近江生姜などの具材が入った具だくさんの中華あん。 【下段】量目を控えた御飯	435kcal	直径13cm 高さ8cm

2. 商品の特徴（こだわりのポイント）

- ① たっぷり野菜を使ったおかず。
野菜をメインにおかずを構成しました。さらに、野菜の品目を増やすことで、ビタミン・ミネラルをバランス良く摂取することができます。
- ② フライやカツなどの揚げ物を控えました。
お弁当の定番であったフライの代わりに「揚げなす」にするなど、調理方法を見直し、全体をさっぱりと仕上げました。
- ③ 旨みの強い天然素材で味を整えました。
家庭の味を目指すと同時に、年々高まりつつある「ヘルシー志向」へ配慮し、化学調味料を控え、椎茸などの天然素材の旨みを最大限に引き出しました。
- ④ トートバックに入るくらいコンパクトな容器にしました。
持ち運びのしやすさや見た目を重視し、コンパクトなサイズに収めました。
また、おかずの仕切りにパステルカラーのカップを使うなど、可愛らしさを演出しました。

- 3. 発売日 平成 14 年 10 月 1 日（火）
- 4. 販売店舗 セブン - イレブン全店舗 9313 店（9 月末現在）

以上